

# 日本ユネスコ国内委員会 ～福島県只見町事例発表～

ふるさと只見を愛し、  
誇りに思う心を育てるESD  
～ふるさとのよさを学び、課題を見つめ、未来を切り拓く力へ～



福島県南会津郡只見町教育委員会  
仲丸 和宏

# 只見町の概要

- 福島県の南西部、新潟県と隣接
- 総面積 747 km<sup>2</sup>  
(約94%が山林)

豪雪が生んだ貴重な自然と、  
人々の豊かな共生が認められ  
平成26年

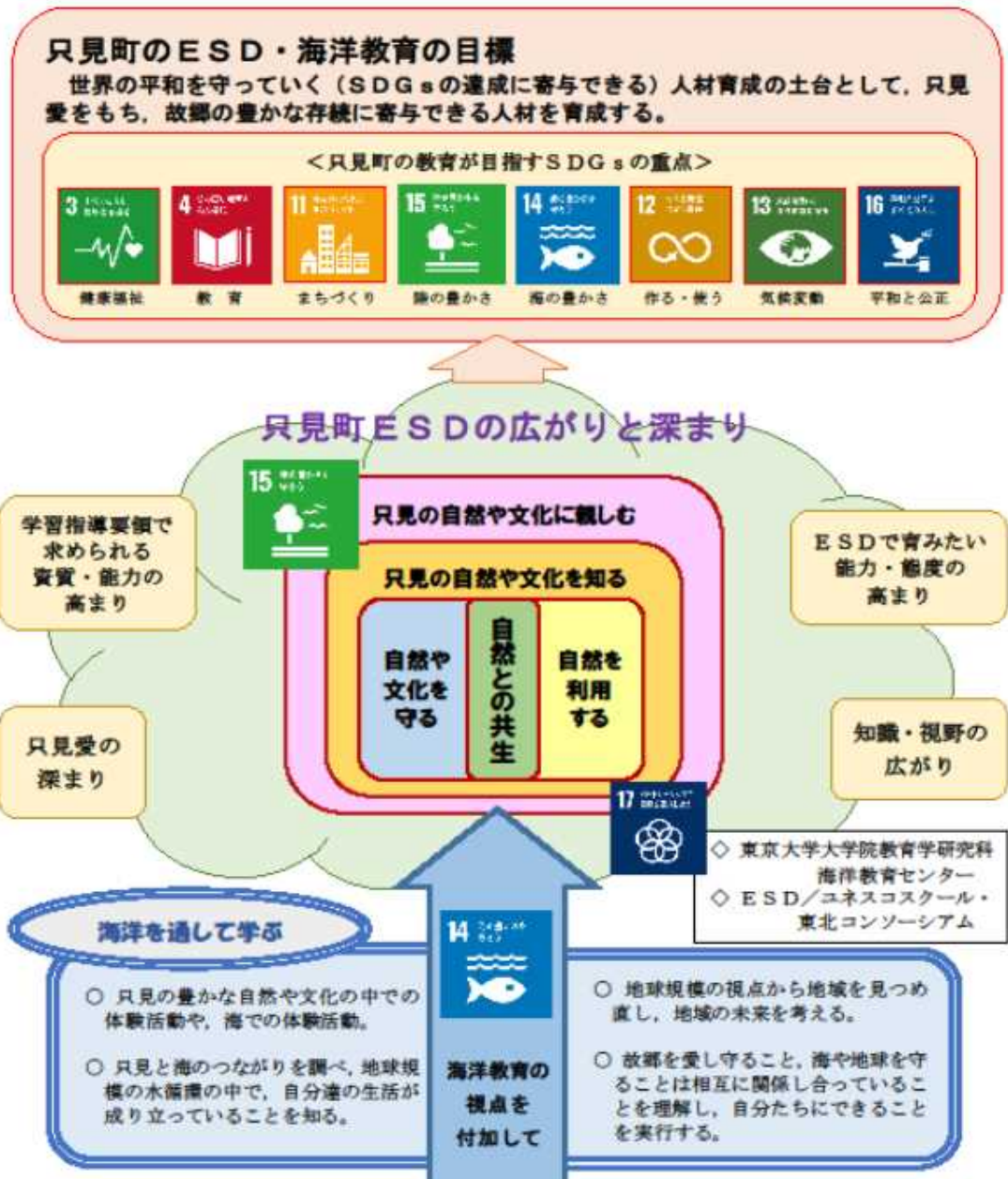
只見ユネスコ  
エコパークに認定



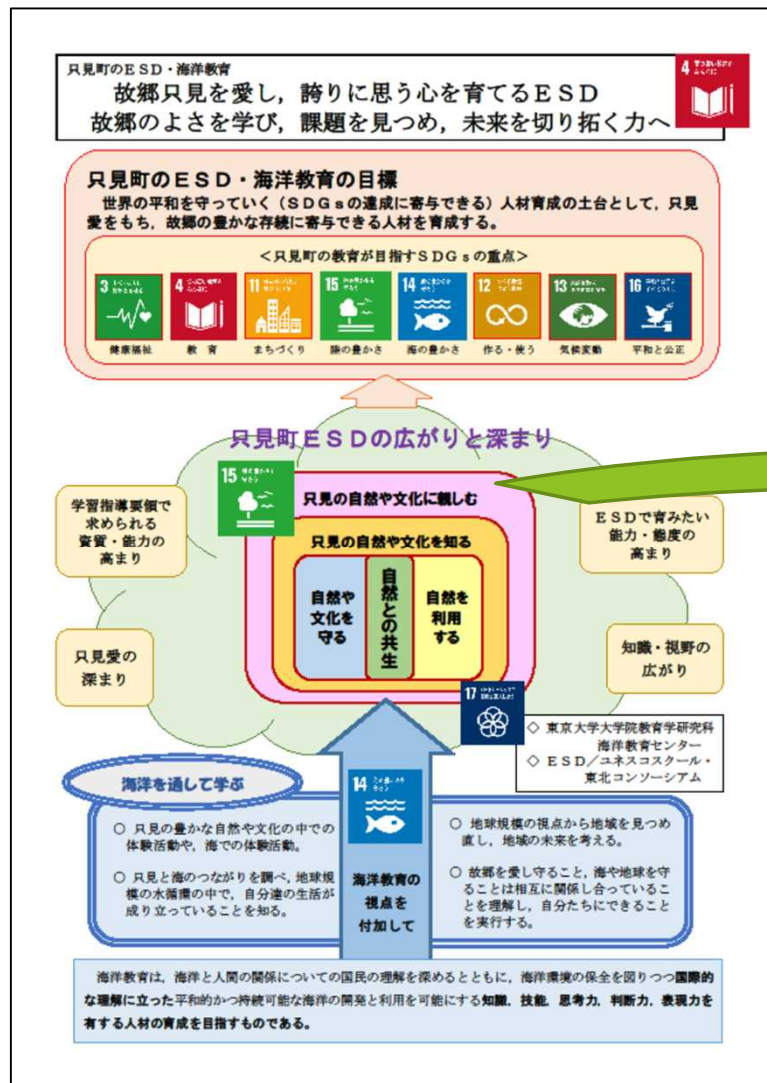
# ふるさと只見を愛し、 誇りに思う心を育てるESD

～ふるさとのよさを学び、  
課題を見つめ、未来を切り拓く力へ～

- 只見町の今までのESDの取組をもとに
  - ・ 地域の自然や文化に触れる「只見学」を重視。カリキュラム化。
  - ・ 地域の課題の解決を図る学習
  - ・ ユネスコエコパークとしての意識
  - ・ ブナセンターなどの地域学習センターとの連携
- 海洋教育の視点
  - ・ 只見愛の醸成
  - ・ 知識・視野の広がり
  - ・ 資質・能力の高まり
- SDGsの視点
  - ・ ふるさとの豊かな存続
  - ・ SDGsの達成



# グランドデザインの作成



## 只見町のESD・海洋教育で目指す子どもたちの姿

世界の平和を守っていく人材育成の土台として、故郷只見愛をもち、故郷の豊かな存続に寄与できる人材

**只見高等学校** 故郷只見愛をもとに、故郷や世界の豊かな存続を意識し、実践しようとする人材  
・地域協働推進校としてESDの実践 ・山村教育留学制度 ・レインボープランの推進

	親しむ	知る	守る	利用する	身に付けさせたい力
	<b>自然との共生</b>				
<b>只見中学校</b>	只見町や海での体験活動や調査、人々との関わりを通して、地球の自然やそれを利用して文化を誇ってきた人々の素晴らしさや、持続可能な社会という視点からの課題に気づき、進んで関わろうとする。	只見町と海や自然や文化等におけるつながり、地球規模の環境問題等について、課題をもって調べること、只見町や我が国、地球全体が抱える課題について多面的に理解する。	故郷を愛し守ること、海や地球を守ることは相互に関係し合っていることを理解し、様々な地域での取組を参考にしながら、自然や文化を守るための取組を考え、自分たちにできることを実行する。	只見町の自然や文化を生かしたり、様々な地域での取組を参考にしたりしながら、持続可能な社会をつくる取組を考え、自分たちにできることを実行する。	様々な能力態度を統合的に発揮し、実践する力 批判的に考え、創造する力
<b>小学校 高学年</b>	只見町や海での体験活動や調査、人々との関わりを通して、只見町の素晴らしさや、持続可能な社会という視点からの課題に気づき、進んで関わろうとする。	只見町と海や自然や文化等におけるつながり、自分達の生活と海や自然とのつながりについて、課題をもって調べること、自分たちが、地球規模の水循環の中で生活していることを理解する。	只見町の自然や文化、町の人々を大切に思う気持ちを持ち、海や海辺の地域での取組を参考にしながら、それらと関わったり、守るための取組を考えたりする。	只見町の自然や文化を生かしたり、海や海辺の地域での取組を参考にしたりしながら、持続可能な社会をつくる取組を考え、発信する。	多面的・総合的に考える力 未来を予測して計画を立てる力
<b>小学校 中学年</b>	只見町の中で体験活動、町の人々との関わりを通して、それらの素晴らしさに気づき、進んで関わろうとする。	只見町の自然や文化、自分とのつながりについて、疑問をもって、体験したり、調べたりすることで、只見町を理解する。	只見町の自然や文化、町の人々を大切に思う気持ちを持ち、それらと関わったり、守るために行動したりする。	只見町では自然を利用して生活したり、文化が生まれたりに気づき、それを意識して生活する。	自ら実践する力 情報収集・分析する力 コミュニケーションを行う力
<b>小学校 低学年</b>	自分の住む地域の自然や文化の中での体験活動、地域の人々とのふれあいを通して、地域に愛着をもつ。	自分の住む地域の自然や文化を体験したり、調べたりすることで、自分の住む地域を理解する。	自分の住む地域の自然や文化、地域の人々を大切に思う気持ちを持ち、進んで関わる。	自分の住む地域の自然を利用して進んだり、生活を楽しくしたりする。	つながりや尊重する態度 他者と協力する態度 進んで参加する態度

### 只見町小中学校での取組

- ・各校における研究実践、公開
- ・防災教育
- ・只見町社会教育施設の活用
- ・海辺の地域、海外ユネスコスクール等との交流
- ・海洋教育全国サミット等への参加
- ・只見学の推進（只見おもしろ学ガイドブック活用・只見おもしろ学検定）

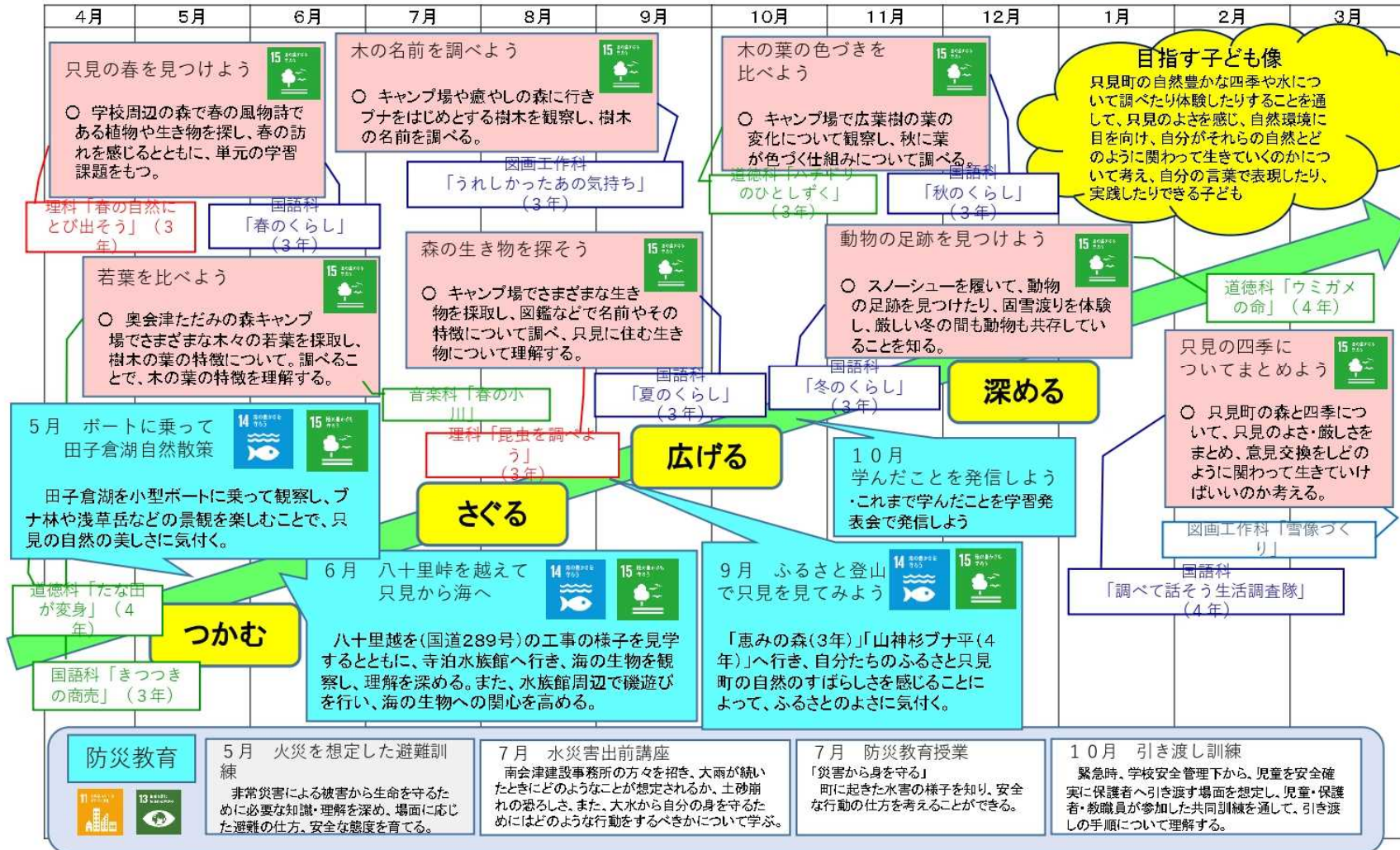


# 只見小学校のストーリーマップ

只見小学校 中学年（B年度） 只見学（ESD・海洋教育）ストーリーマップ 「只見の森と四季」

各教科との関連の4つの視点(枠の色分けて表記)

学習内容・認知面での関連	知識の深化
技能・リテラシー面での関連	技能の活用
情緒・価値観での関連	価値の醸成
態度・行動面での関連	行動の変容



# 朝日小学校のストーリーマップ

第5学年「只見の食と農作物」ESDストーリーマップ <学習テーマ> 只見町では、自然の豊かさを生かして、どのような生活を営んできたのだろう。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
<p>土井となる購買・販売</p> <p>購買し食品販売をする店(アグリセンターなど)</p> <p>農産物の産地を調べる(産地を調べるとどうなるのかな?)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p>	<p>平野町産産物に出かける(産地を調べるとどうなるのかな?)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p> <p>産地を調べるとどうなるのかな? (アグリセンターなど)</p>				

**《社会》「わたしたちの国土」**

- 国土の地形や気候の特色と只見町の地形や気候の特色を比較する。
- 標高や気候の違いによって、暮らしや工夫していることに気づき、只見町では、どんな暮らしの工夫をしているか考える。

**○ 4年生までの学習を振り返り、只見町では、自然の豊かさを生かし、どのような産業を行っているかを生かして話し合う。**

- 4年生では、只見町の豊かな自然を守ることを考えてきたよ。自然との共生がユネスコ・エコパークの考えだったね。
- 只見の人たちは、豊かな自然を生かしてどんな生活を営んできたのかな。
- 只見町で採られている農産物や地産産物を見て、たくさんの人に知ってもらいたいね。

**○ 調べたい産物ごとにグループに分かれ、疑問や願いから課題を設定する。**

- 只見のおいしい米のことを、みんなに知ってもらおう。
- 只見といったら、トマト、南郷トマトはとってもおいしいよ。
- 町の奥にもなっているイワナについて調べてみたい。

※ これまでの実践から予想される児童の反例例

**課題設定1**  
只見町は、自然の豊かさを生かして、どのような産業を行っているのだろう。

**○ 調べたい産物ごとにグループに分かれ、なぜ只見町でその産物が盛んに生産されている(食べられている)のかを調べる。**

**共通課題**

<米> 南郷赤米

- 米づくりを体験してみたい。一田圃体験
- 農家の人に、米づくりの工夫について聞いてみよう。
- 米作りをしていて、気になることはあるのかな。

**グループ課題**

<トマト> 日露だいすけ

- どのように作っているのかな。
- トマトを作っているところに行ってみよう。
- トマト作りをしていて気になることはありますか。

<イワナ> 町下巻巻 小沼のぶか(82-3763)

- 釜から川で獲られていたのかな。
- イワナの墨のたくさんイワナは獲ってくるのかな。
- イワナを育てていて、気になることはあるのかな。

<養蜂> 生天日蜂子

- どのようにミツバチを育てているのかな。
- なんで、只見町で養蜂をしようと思ったのかな。
- 養蜂をしていて、最近気になることはあるのかな。

**《言語》「目的に応じて引用するとき」**

- 目的や場面に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝える。

**《理科》「植物の発芽と成長」**

- 植物が大きく成長するためには、何が必要かを、条件調整しながら調べる。

**○ 只見町の産業について調べたことを発表する。**

- 最近、只見町では困ったことが増えているみたいだよ。
- 農家の人も、観光客の人も同じようなことを書いているね。
- 只見町の夏の気候の変化や、雪の降量も大変なことになっているよ。

**○ 課題設定2につなげる。**

- 只見町で悩んでいる変化は、只見町だけの問題なのかな?
- どうしてこのような問題が起こってきているのだろう。
- 原因はなんだろう。

**まとめ・ふりかえり**  
調べたことをまとめよう。

**《社会》「わたしたちの生活と食料生産 ~米づくりのさかんな地域~」**

- 市内と只見の米づくりに関係する共通点や相違点を見つける。
- 米づくりの抱える様々な問題を捉え、今後の発展のためにどのような取り組みができるかを考える。

**《社会》「わたしたちの生活と食料生産 ~水産業のさかんな地域~」**

- 主な漁場の分布、水産業に従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結び輸送の働きを理解する。
- 水産業の様子と自然環境や国民生活を関連づけて思考・判断したことを適切に表現する。

**○ 只見町で起きている問題は、只見町だけの問題なのかな? 話し合う。**

- 最近、只見町では困ったことが増えているみたいだよ。
- 農家の人も、観光客の人も同じようなことを書いているね。

**課題設定2**  
只見町で起きている環境問題の原因について考え解決案を考えよう。

**《道徳》「植物とともに 牧野富太郎」**

- 好きなことや興味のあることを追究し、心理を求めようとする意欲を高める。

海洋教育との関連  
陸の豊かさとの関連  
気候変動との関連

# 明和小学校のストーリーマップ



## Climbing Routes 登 第4学年テーマ▶水とのかかわり

目指す児童像

社会の諸問題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組んでいこうとする主体性や問題を見出し解決を図ろうとする態度を持つ児童。

月	総合的な学習の時間	各教科等との関連の視点				ESDでつきたい能力・態度
		知識の深化 学習内容・認知	技能の活用 技能・リテラシー	価値の醸成 情緒・価値観	行動の変容 態度・行動	
4	身近な地域の水の循環について知ろう⑩ ・只見を流れる川について知ろう ・地域の水の循環について考えよう					
5						
6	・川の水の原水を探ろう	社【水はどこから】 ・水の循環について知る	国【みんなで新聞を作ろう】 ・情報の精選			
7	◇尾瀬遠足				行◆尾瀬遠足 ・環境保全	
8						
9	【只見町の自然について知ろう】⑩ ・ブナ森の役割について考えよう ◇明和発見タイム（癒しの森散策）		国【わたしの考えたこと】 ・文章構成の仕方			
10	・只見町の川の水質を調査しよう ◇学習発表会	社【谷にかこまれた台地に水を引く】 ・大倉地区水路開削		道【自然や動植物を大切に】 ・自然愛護		⑧多面的、総合的に考える力
11	【自然を守る取り組みについて考えよう】⑩ ・自然を守る取り組みについて気づき ・只見町の自然を守るためにできることを考える	理【水のすがたど温度】 ・水の状態変化				⑧多面的、総合的に考える力
12	◇只見おもしろ学検定	社【日本地図を広げて】 ・47都道府県の特徴や名称と位置 理【自然のなかの水のすがた】 ・水の自然蒸発と凝結				
1			体◆スキー ・雪の利用			
2	◇明和っ子雪祭り ◇伝統芸能発表会			道【石っけんさん宮沢賢治】 ・自然愛護		
3						

12月に実施。  
食物連鎖や海の生き物へかわる内容のため、川の道筋をたどった児童の思考の流れに合わせた。海の環境保全の視点も交えて取り扱った。

児童の思考の流れに基づき、「海と森とのつながりについて考えることができる。」に変更。

海の視点を交え、1・2月に実施。内容も只見の自然だけではなく、「地理的に広い視野をもって身の回りの自然を守っていくことの意義に気づく。」に変更。

【身近な地域の水の循環について知ろう】  
只見を流れる川の流れについて知ることを通して、川の水はどこからきてどこへいくのか考える。只見町の地下水の利用についても知ることによって只見町の水の純度についての意識をもたせる。また、水の循環について考え、尾瀬遠足への動機付けを行う。

【只見町の自然について考えよう】  
癒しの森散策や伊南川の水質調査をすることを通して、只見町の自然について理解を深める。只見町の自然の豊かさを実感し、自然を守る取り組みについて考えをつなげていく。

【自然を守る取り組みについて考えよう】  
川の流れをたどり、海とのつながりを実感し、只見町の自然について理解を深めたことを通して、自然を守るための取り組みについて考えたり、身近な自然を守っていくこととする気持ちを高めたりする。

### 児童の実態

只見町を流れる川の水がきれいだと全員の児童が思っているわけではないことや只見町の自然豊かな場所で見られない生物の貴重さに気づいていない児童が多いことから、多くの児童が只見町の自然の豊かさの価値に気づいていない。

### 教師の願い

他教科と関連して知識を得たり、実際に身近な地域の自然に触れたりすることを通して、町の貴重で豊かな自然について知り、それらを守るようとする意識を高めることができる。

# 地域学習から海へ



「ふるさと登山」  
川の始まり



「田子倉湖散策」  
川での体験活動



「川の生き物」



「川の水質調査」



森の恵みを実感



「八十里を越えて海へ」  
海での体験活動



# Think Globally , Act Locally



河川のごみ拾い  
自分達で行動を起こす



学級に「エコ系」  
ごみの分別を進める

# 中学校の実践 ～プロジェクト学習～

「コキア」を栽培して  
ほうき作り  
奉仕活動へ



ブナの間伐材を使って  
SDGs ホイール作り  
町内に配り意識を高める



防災学習  
地域の人と炊き出しや  
救急救命の講習も



# 学校と連携した講座の実施



放課後こども教室での  
「新聞紙レジ袋づくり講座」  
講師は講座に参加した人



中学生による  
「新聞紙レジ袋づくり講座」  
寄付も多く寄せられた

今年度は、  
オンライン講座に挑戦  
県外の方にも発信

# 県立只見高等学校との連携

## 立て！グローバルリーダー



町で地域振興に関わる  
大人達のプロジェクトを聞き、  
自分たちの  
プロジェクト学習に生かす



卒業した後に、  
親子で移住してきた生徒も

### 小中から高校へつなぐ

ESDの取組は、地域と連携しながら生徒の豊かな心と、主体的で協働的な態度、深く考える力を育て、未来を切り拓く力にもつながる大きな学びとなる。

# パンフレット作成と町民への配布



## 只見町のESD・海洋教育



故郷只見を愛し、誇りに思う心を育てるESD  
 故郷のよさを学び、課題を見つめ、未来を切り拓く力へ  
 ～海洋教育の視点を付加したESDの取り組み～



故郷を大切に思う心は、地球を守る！

福島県只見町教育委員会

只見町立只見小学校、朝日小学校、明和小学校、只見中学校

## Ⅱ 朝日小学校の実践

### 1 実践名

つながりの中で「只見愛」を育みながら、学び続ける子どもの育成を目指して  
 ～ESDストーリーマップにおいてESDの能力・態度を育む実践を通して～

### 2 実践の概要

本校ではこれまで、ESDを「将来にわたって、持続可能な只見町、国際社会を構築する担い手を育てるための教育」ととらえ、生活科や総合的な学習の時間における只見の「人・もの・こと」に直接ふれる郷土学習「只見学」を中核として各教科、特別活動と関連を図りながら実践を重ねてきた。

昨年度、学びのストーリー性やつながりを明確にしたESDストーリーマップを作成し、さらに海洋教育とのつながりを明確に示した。今年度はそのESDストーリーマップを実践していく中で、本校でのESDの能力・態度を育む実践と海洋教育との関連性や、6年間の系統性を考えた学びの姿、子どもたちに海とのつながりを意識させていくことができる単元構想や授業展開について研究を進めてきた。

### 3 成果と課題

- 低学年においては、身近な自然や町のよさ、自慢したいことについて自ら調べ、ふれあう活動を行ったことにより、自分たちの周りにおける環境の素晴らしさや、それに携わる人々の努力などに気付くことができ、海洋教育へのベースづくりを行うことができた。
- 中学年においては只見町の自然に実際にふれたり、ゲストティーチャーの話を聞いたり、水質調査をしたりすることで美しい自然や多くの生き物を支えている豊かな水の存在に気付くことができた。また、水の循環について理解したことで、上流に住んでいる自分たちの生活が下流（海）地域の人の生活にも影響を及ぼすことに気付く、海と自分たちの生活とのつながりを意識できるようになってきた。
- 高学年においては、只見町の現状と課題にも目を向け、只見町の未来について考えてきた。只見町と海沿いの地域との共通点や相違点を捉えたり、海沿いの地域の取組を只見町で生かすことができないかを考えたりすることで、子どもたちの視野を広げさせることができた。
- 周囲を山に囲まれた本校では、海とのつながりを日常生活で感じる事が難しい子どもたちに、海とのつながりを意識させられるような単元構想や授業の工夫を今後していく必要がある。また、地域の「人・もの・こと」とのつながりを児童が実感できるように、教師自身が自ら地域に足を運び、地域の教材開発をさらに深めたりする必要がある。

### 4 主な実践の様子

#### (1) 全校生で川を体感する「なかよし活動」

本校では、7月に全校生で学区内を流れる黒谷川での川遊び体験を行っている。地域の方を講師に招き、縦割り班ごとに、6年生の班長を中心として、川の楽しみ方を教えていただいた。



<五感を使って川を体感>

## 只見町の教育が目指すSDGs 重点



SDGs15：陸の豊かさを守ろう

→ 14:海の豊かさを守ろう

「地域の豊かな自然や文化を守ろう」 → 「水や環境を大切に海や地球を守ろう」



3:全ての人に健康と福祉を  
 「みんな元気で思いやりを  
 持つ子に」



4:質の高い教育をみんなに  
 「豊かな教育ができるよう  
 努力します」



11:住み続けられるまちづくりを  
 「地域を学び、発信し、町を  
 元気にする教育を」



12:つくる責任 つかう責任  
 「自分の物も、みんなでも使う  
 物も大切にしよう」



13:気候変動に具体的な対策を  
 「水や電気を無駄なく大切に使  
 おう」



16:平和と公正をすべての人に  
 「人の気持ちを考え、みんなに  
 公平に接しよう」

※身近な取組から、「世界の誰も取り残さない」社会へ

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは、世界の全ての人々が平和で、幸せにくらせるようにと願い、国連が定めた17項目の国際的な目標で、2030年までの達成を目指して世界中で努力しているものです。

只見町の学校ではESD※を通して、上記のSDGs 8項目を重点化して達成を目指しています。

※ ESDとは・・・

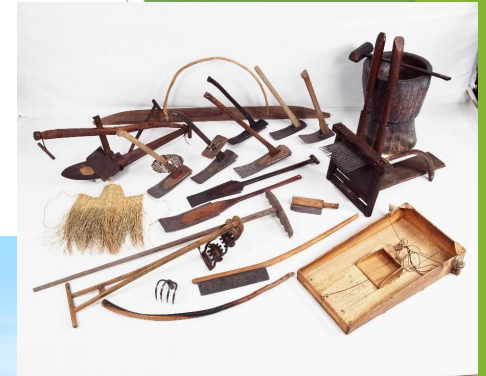
Education for Sustainable Development: 持続可能な開発のための教育  
 「目先の利益だけを考えず、将来にわたって豊かに存続できる地域、地球、世界を作っていくとする人材を育成する教育」

# ただみ・ブナと川のミュージアム ただみ・モノとくらしのミュージアム



ブナセンターで  
只見の自然の素晴らしさを学ぶ  
学校との連携で  
子ども達に只見愛を育む

国指定重要有形民俗文化財  
「会津只見の生産用具と  
仕事着コレクション」  
2, 333点を保存



来年度開館の  
「ただみ・モノとくらしのミュージアム」  
自然との共生の中で育まれた  
只見の貴重な文化遺産を  
未来へ伝え、発信する

# 地域人材の活用

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	低学年	中学年	高学年
教科等	国語・算数		社会	理科	技能(外国語)		生活	総合	道徳
分野	自然	文化	公共	産業	歴史	読書	栽培	運動	その他
<b>朝日小学校つなぐんリスト</b>									
No.	学年	教科等	分野	内容	実施月	氏名・施設	住所	連絡先	備考
94	高	体育	その他	クロカシ指導	1	馬場 永好			
95	5	総合	産業	米作り	6	齋藤 聡			取付
96	5	総合	産業	トマト作り	6	目黒 大輔 (RISESAPEUR)			取付 ライスサポール
97	5	総合	産業	イワナの養殖	6	小沼 信孝(町下養魚場)			取付
98	全	国語	読書	司書		齋藤 エミ			
99	全	総合	自然	養蜂		生天目 博			※元 養用して欲しいと要請者
100	4	社会	歴史	成法寺見学	11	成法寺護持会 代表 山内泰介			見学当日は、通院のため のみ借用
101	4	社会	歴史	成法寺見学	11	原田 岩夫			
102	4	社会	公共	防災	9	三瓶 真人			※町民生活課
103	1	生活	自然	自然観察	10	緒藤 祐太郎			
104	低	行事	文化	ブナの葉染	5	本多 一恵 (ぶないろくらぶ)			講師謝礼・葉染材料代
105	低	行事	文化	ブナの葉染	5	鈴木 サナエ (ぶないろくらぶ)			講師謝礼・葉染材料代
106	低	行事	文化	ブナの葉染	5	酒井 勝子 (ぶないろくらぶ)			講師謝礼・葉染材料代
107	6	総合	産業	防災	7	町民生活課			※町民生活課
108	6	総合	産業	PR	7	観光交流推進室			※観光交流推進室



地域の人と関わることで  
多様なつながりが生まれ  
只見愛が深まる



小・中学校、町がそれぞれ作成した地域人材リストを  
統合して、データベース化。広域的な活用を目指す。

# 只見町のESD



**少子高齢化、過疎化という大きな課題**



**学校の教育活動を中心にしたESD**



**只見ユネスコエコパークに暮らす町民全員が、ふるさとのよさを再認識し、愛情と誇りをもちながら、生涯にわたって心豊かに生きていく**





ご清聴ありがとうございました